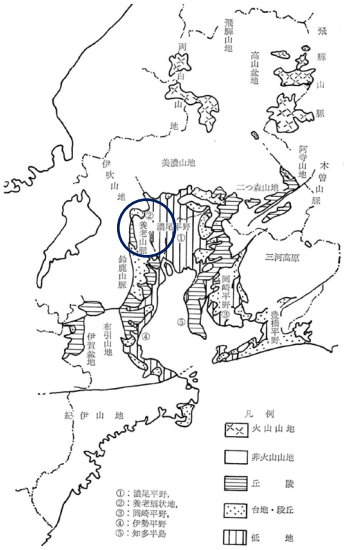
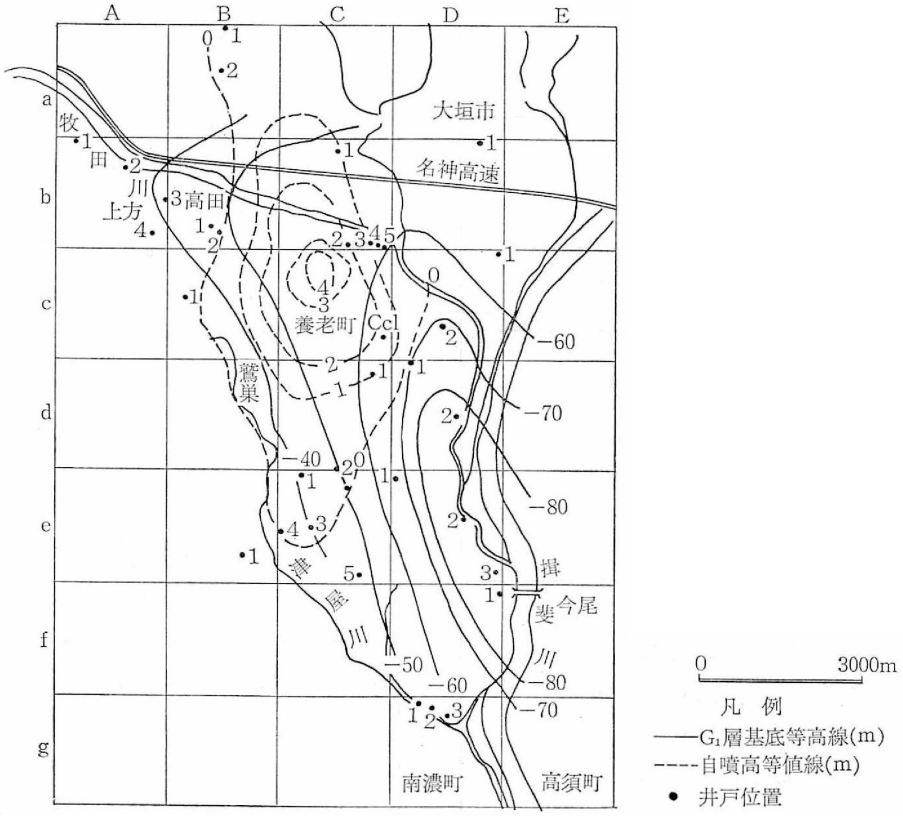
2.養老扇状地



地形・地質

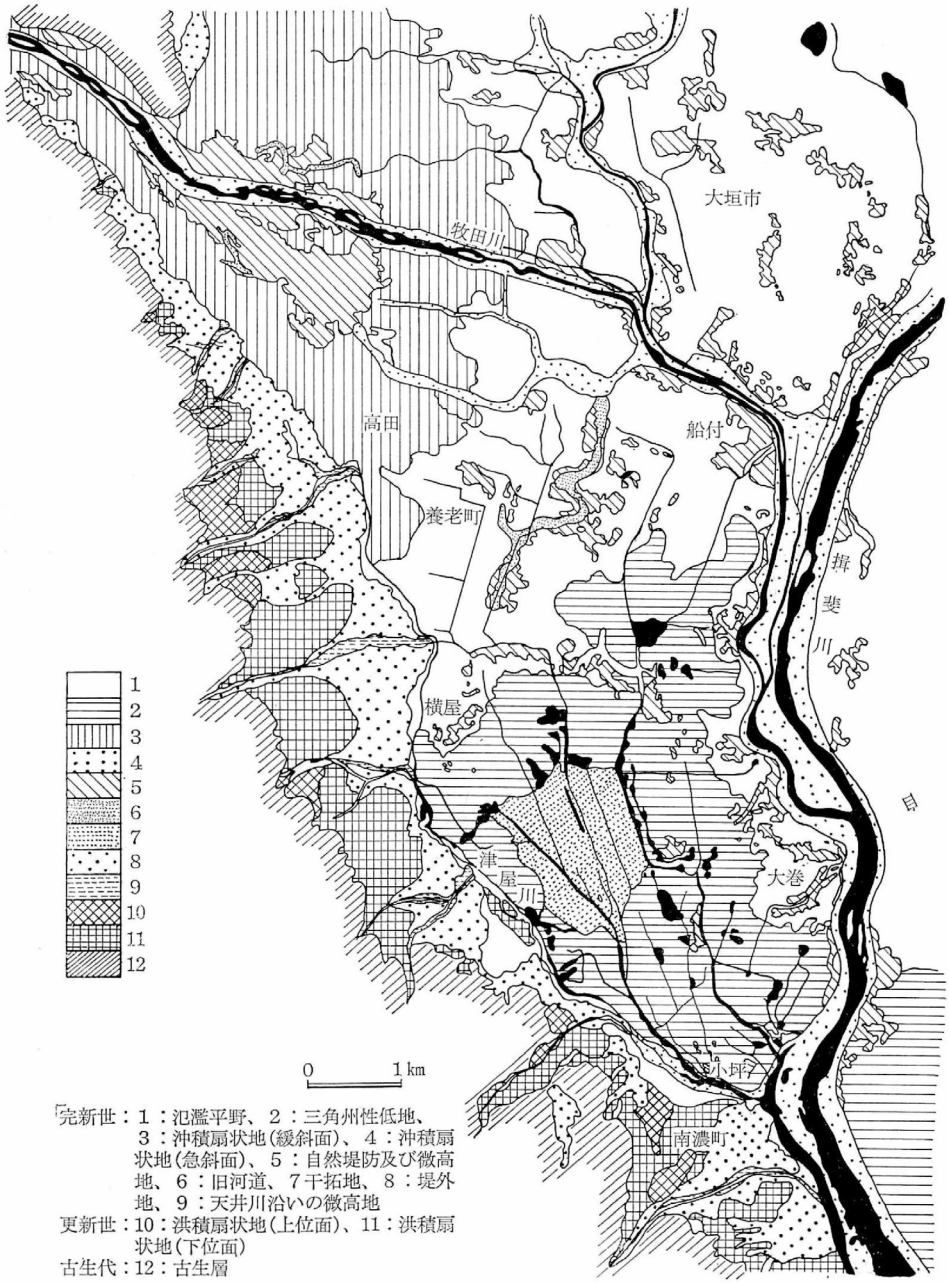
濃尾平野北西部を占める養老扇状地は，標高 50m から 150m にかけて 2 段からなる扇状地面が並び，この洪積扇状地をさらに開析し，新しい沖積扇状地が小規模ながら沢々に発達しています。



養老扇状地 G1 層基底面分布および自噴高分布図

地下水

非常に地下水が豊富な地域で，主要な帯水層は G1 層です。井戸は扇央部と，扇端部から氾濫原にかけて分布します。前者は牧田川の伏流水を採水し，自噴しているものは少ないです。後者は被圧地下水が採取され，半分近くが自噴しています。



養老扇状地周辺の地形区分図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）